

The 44th Yokohama International Piano Concert

横浜から世界へ羽ばたく
若きピアニストたちの国際フェスティバル



2026.11.7 (土) 15:00開演 (14:20開場)
横浜みなとみらいホール 大ホール

特設
サイト

Saturday, 7 November 2026, 15:00 [Doors open at 14:20] Main Hall, Yokohama Minato Mirai Hall

主催 = 横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)
共催 = 横浜市 企画 = 横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会
協賛 = ヤマハ株式会社、日本ソーディアック株式会社、株式会社ランディックス
後援 = 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

Organized by: Yokohama Minato Mirai Hall, Yokohama Arts Foundation
Co-Organized by: City of Yokohama Planning by: Yokohama International Piano Concert Planning Committee
Sponsored by: Yamaha Corp. / Japan Zodiac Co., Ltd. / LANDIX Inc. Under the auspices of: The Piano Teachers' National Association of Japan
Supported by: Agency for Cultural Affairs, Government of Japan/ Japan Arts Council

文化庁文化芸術振興費補助金
助成 = 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業 [地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業])
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレイベント

ミニ・コンサート いち早く本演奏会の出演者をご紹介します!
※詳細は決定次第ウェブサイトにてお知らせします。

2026.11.4 (水) クイーンズスクエア横浜1F・クイーンズサークル

関連イベント

「ピアニストってどんな人?」
子どもたちとの交流会

入場無料 / 要事前申込

11月7日公演出演のピアニストたちの演奏を間近に聴き、直接質問できるイベントです。ピアノを習っていないなくても、弾けなくても大丈夫。ピアノが大好きな人、ピアノをもっと知りたい人、将来ピアニストになりたい人など、ピアノに興味がある皆さんのご参加をお待ちしております。普段の演奏会とは一味違った迫力を感じ、ピアノやピアニストについて知りたいことを質問してみませんか?

2026.11.6 (金) 17:00 ~ 18:00
横浜みなとみらいホール レセプションルーム
対象: 小学生~中学生 定員: 30名 (保護者等のご同伴は2名まで可)

※定員に達し次第受付終了。※未就学のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。
※当日は通訳がつきます。※公演の出演者が全員、揃わない場合がございます。

特別レクチャー
「明治・大正期の横浜とピアノ」

聴講料 ¥1,000 / 要事前申込
※7日公演チケット購入者は無料

1859年に開港した「横浜」は、早くから「ピアノ」が持ち込まれ、普及し、そして「ピアノ」を作ろうとした街でした。外国人居留地の楽器商、西川虎吉の起こしたNishikawaブランド、周筱生など華僑によるピアノなど、横浜で生まれたピアノの歴史を辿り、「横浜とピアノ」の意外な歴史的つながりをご紹介します。



2026.11.7 (土) 12:00 ~ 13:00
横浜みなとみらいホール レセプションルーム

講師: 刈田 均 (横浜市歴史博物館 主任学芸員) KARITA Hitoshi (Curator, Yokohama History Museum)
定員: 70名 ※未就学のお子様のご同伴、入場はご遠慮ください。

「子どもたちとの交流会」「特別レクチャー」のお申込方法

Peatix のウェブサイトやスマートフォンアプリよりお申込みください。※会員登録が必要です。
※ウェブサイトやスマートフォンアプリからの申込みが難しい方は、横浜みなとみらいホール事務局 (045-682-2020) までお問合せください。



受付開始日
8月7日 (金)

横浜市招待国際ピアノ演奏会 メールマガジンのご案内

毎年秋に開催される「横浜市招待国際ピアノ演奏会」の情報をいち早くお届けするメールマガジンでは、本演奏会出演のピアニストの当ホールでの出演情報や、ご活躍の情報等をお届けしています (不定期)。ぜひこの機会にご登録ください。
※個人情報は、本事業に関わるご案内にのみ使用し、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団の個人情報保護方針に則り適切に管理します。



ご登録はこちらから

ウェブフレンズ

横浜みなとみらいホール
横浜みなとみらいホールでのコンサートをさらにお楽しみいただくための特典プログラム。ホールの最新情報やお得な情報などをメールマガジンでお届けします。



ご登録はこちらから

横浜みなとみらいホール

【公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団】

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6
Tel.045-682-2020 Fax.045-682-2023
https://yokohama-minatomiraihall.jp/



@yokohamammmh

交通のご案内

- みなとみらい駅 (東急東横線直通みなとみらい線) 下車、徒歩3分。「クイーンズスクエア横浜連絡口」改札 (地下3階) より左方向。クイーンズスクエア横浜内の吹き抜けエスカレーター (赤) を1階まで上がり左方向、クイーンモール左奥。
- 桜木町駅 (JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄) 下車、徒歩12分。みなとみらい方面の「動く歩道」から、ランドマークプラザ経由 (3階から1階へ) でクイーンズスクエア横浜、クイーンモール左奥。

◎チケット料金 (全席指定・税込)

一般	¥5,000
65歳以上の方	¥4,500
大学生・障がい者手帳をお持ちの方*	¥2,500
高校生以下	¥2,000

*横浜みなとみらいホールチケットセンター電話・窓口のみ取扱い。

◎チケット発売日

横浜市民先行 (横浜市在住・在学・在勤の方対象)	7月14日 (火)
インターネット先行	7月21日 (火)
一般発売	7月25日 (土)

◎チケット取扱い・お問合せ

横浜みなとみらいホールチケットセンター
https://minatomirai.pia.jp
045-682-2000

(電話 10時~17時/窓口 11時~18時 ※休館日・保守点検日を除く)

- チケットぴあ https://t.pia.jp
- e+ https://eplus.jp

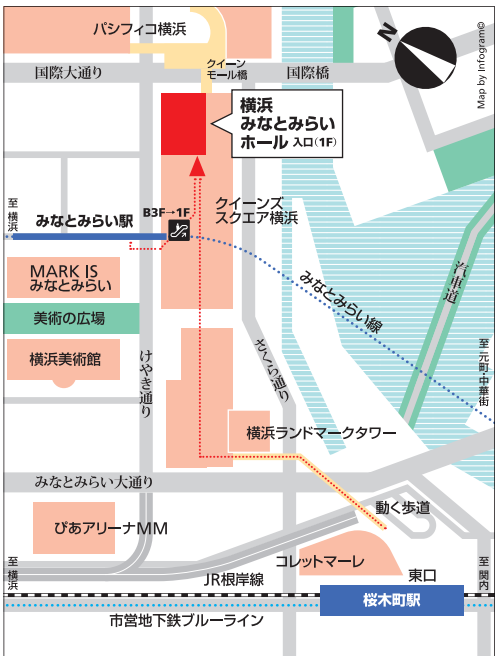
※未就学のお子さまの入場はご遠慮ください。
※車椅子席をご希望の方は、横浜みなとみらいホールチケットセンター (電話・窓口) にてお申込みください。

■下記につきまして、予めご了承ください。※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等変更になる場合がございます。※チケットは如何なる場合 (紛失・盗難・破損等) も再発行いたしません。※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更・払い戻しはいたしません。※公演中止の場合、旅費等の補償はいたしかねます。チケット券面記載金額のみ返金いたします。

託児サービス

ご予約・お問合せ | 株式会社 明日香 (あすか) Web予約申請フォームはこちら
0120-165-115 (平日10:00~17:00)

生後6か月から12歳 (小学生) までのお子様をお預かりします。事前予約制 (定員10名) 公演の3か月前から3営業日前まで受付。



第44回横浜市招待国際ピアノ演奏会

2026.11.7(土) 15:00開演(14:20開場) 横浜みなとみらいホール 大ホール

横浜市招待国際ピアノ演奏会は、ピアニストで音楽教育家でもあった故山岡優子氏の提唱で1982年に横浜市が開催して以来、40年以上の歴史ある演奏会です。国際的な活躍が期待される35歳以下の若手ピアニストを世界から見出し、横浜市民へ紹介してきました。国内の代表的なピアニストの多くが、若手と呼ばれる時期に当演奏会に出演していることから、まさに日本のピアノ界でひとつの歴史を形成してきた事業です。

4名の出演者は国内外から公募し、日本を代表する音楽家で構成される企画委員会の審査を経て決定しています。招聘期間中、出演者は横浜に滞在し、公演以外にも子ども達との交流会等の関連イベントに参加。また、ピアノへの関心や理解を深める特別レクチャーやマスタークラスなど関連イベントも同時期に開催し、より広がりのあるピアノフェスティバルとして年々発展しています。



「横浜市招待国際ピアノ演奏会」デジタルアーカイブはこちら

「横浜市招待国際ピアノ演奏会」は、新しい文化を取り入れ発信し続けてきた横浜の街にふさわしく、世界中から将来を嘱望される才能を発掘し、広く紹介することを目的として1982年に創設されました。

国際的に活躍されたピアニスト、故・山岡優子先生の「世界の芸術家たちを育てていこう」という強い熱意から始まったこの演奏会でこれまでに紹介してきたピアニストたちは200人を超えます。世界各国で華々しく活躍する錚々たる顔ぶれに、歴史の重みとこの演奏会が果たしてきた役割の大きさを感じずにはいられません。

40年を超える長きに亘って存続することができるのは、聴衆の皆様のご支援、そして創設当初から親身になって支えてくださっている廣瀬 修氏をはじめ、毎年楽器を丁寧に調整して下さるヤマハ株式会社の皆様、各協賛社様、横浜市及び横浜みなとみらいホール、そして素晴らしい耳で真摯に演奏家を選定して下さる企画委員会の先生方、皆様のご協力のおかげに他なりません。心より感謝申し上げます。

第44回となる今回は、昨年に引き続き大ホールにて開催いたします。出演者も今後の活躍が期待される素晴らしい4名の若手ピアニストが揃いました。それぞれの個性あふれる演奏を、大きな会場の素晴らしい響きでご堪能ください。また、関連イベントとして、横浜とピアノの歴史についての特別レクチャー、恒例の人気企画「子どもたちとの交流会」も開催いたします。

この秋も多くのピアノを愛する皆様に横浜へお集まりいただき、未来に羽ばたく若いピアニストたちの音楽に耳を傾け、温かい応援をいただけますと幸いです。

横浜市招待国際ピアノ演奏会

企画委員長 海老彰子

EBI Akiko

Chair, Yokohama International Piano Planning Committee



企画委員会

委員：伊藤 恵 須田眞美子 弘中 孝 福岡光太郎 堀了介 (50音順)

初来日！2021年リーズ国際ピアノコンクール 第3位

アリエル・ラニ (イギリス) Ariel LANYI (UK)

ヨーゼフ・ハイドン：ピアノ・ソナタ第52番 ト長調
J. Haydn: Sonata in G major, Hob. XVI: 39

フレデリック・ショパン：ノクターン 第20番 嬰ハ短調(遺作)／即興曲 第2番 嬰ヘ長調 Op. 36
F. Chopin: Nocturne in C-sharp minor, Op. posth / Impromptu no. 2 in F-sharp major, Op. 36

オットリーノ・レスピーギ：《6つの小品》より〈ノクターン〉／グレゴリオ聖歌による3つの前奏曲 第2番
O. Respighi: Notturmo from "Six pieces for solo piano" / Preludes on Gregorian Melodies, No. 2

2023年、巨匠ルドルフ・ブッフピンダーから、前途有望な若手ピアニストのためのセルダン賞を贈られる荣誉に浴した。2021年、リーズ国際ピアノコンクール第3位、パリのグランプリ・アニマート国際ピアノコンクール第1位、ダドリー国際ピアノコンクール第1位、ルービンシュタイン国際ピアノコンクールにてファイナリスト選出。イスラエルのエルサレム生まれ、リア・アグモンとユヴァル・コーエンのもとで学んだのち、ロンドンの王立音楽院にてヘイミッシュ・ミルンとイアン・ファウンテンに師事した。これまで、マラー室内管、ザルツブルク・モーツァルテウム管、イスラエル・フィル、ウィーン放送響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、パーミンガム市響など、様々なオーケストラと共演。ロンドンのウイグモア・ホール、グラフェネック音楽祭、フランクフルトのアルテ・オーパー、キッシンゲンの夏音楽祭、メクレンブルク=フォアポンメルン音楽祭、英国・北米各地でリサイタルを開催。モーツァルト、フランク、レーガーのオルガンに触発されたピアノ曲を収めた最新盤『オルガン・リフレクションズ』(2025)は、『BBCミュージック・マガジン』で5つ星の高評価を得た。

ドイツ出身の才媛！2021年クララ・ハスキル国際ピアノコンクール 優勝

中川優芽花 (日本) NAKAGAWA Yumeka (Japan)

フレデリック・ショパン：4つのマズルカ Op.30／ノクターン 第17番 口短調 Op.62-1
F. Chopin: Mazurkas Op. 30 / Nocturne in B major, Op. 62-1

モーリス・ラヴェル：ラ・ヴァルス
M. Ravel: La Valse

ドイツで生まれ育った日本人ピアニスト、2021年、クララ・ハスキル国際ピアノコンクールで優勝。2019年のロベルト・シューマン国際コンクール(デュッセルドルフ)、2018年のイエネー・タカーチ国際コンクールの覇者でもある。2014年、「若いピアニストのためのフランツ・リスト国際コンクール」(ワイマール)にて第2位。2001年デュッセルドルフ生まれ、シューマン音楽大学にてバーバラ・シュツェパンスカのもと音楽教育を受け始め、ロンドンのパーセル音楽院でウィリアム・フォンに学ぶ。2021年からワイマールのリスト音楽大学でグリゴリー・グルズマンに師事する傍ら、2023年にマリア・ジョアオ・ピリスのマスタークラスを受講。これまで、ロンドンのウイグモア・ホール、ウィーン・コンツェルトハウス、リンツ・ブルックナーハウス、ハンブルクのアルゲリッチ音楽祭、ヴェルビエ音楽祭アカデミーなどで演奏し、クリスティアン・ツァハリアス指揮ホルト・カーザ・ダムジカ管などと共演。国内では、2022年にハスキル・コンクール優勝後初のリサイタルが大絶賛を浴び、セバステリアン・ヴァイグレ指揮読響をはじめ数々の主要オーケストラと共演を重ねている。2025年、岩谷時子Foundation for Youthを受賞。

2度目の来日！2021年ロベルト・シューマン国際ピアノコンクール ファイナリスト

カラム・マクラ克蘭 (イギリス) Callum MCLACHLAN (UK)

モーリス・ラヴェル：鏡
M. Ravel: Miroirs

セルгей・ラフマニノフ：エチュード《音の絵》Op.39より 第9番 二長調
S. Rachmaninoff: Etudes-Tableaux in D major, Op. 39-9

2021年のロベルト・シューマン国際ピアノコンクール(ツヴィッカウ)のファイナリストであるマクラ克蘭は、「魔法のような色彩感覚と並外れたテクニック」を併せもつ「生まれながらのシューマン弾き」と評された。リーズおよびサンタンデール国際ピアノコンクールのセミファイナリスト。2025年のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールには唯一の英国人として出場した。音楽一家に生まれ、7歳より父親からピアノの手ほどきを受けた。11歳でチャーザム音楽学校に進み、のちにトリニティ・カレッジ・ロンドンから最高位のディプロマFTCLを授与される。ザルツブルク・モーツァルテウム大学にてクラウディウス・タンスキの指導で学士号を取得後、ザルツブルクとケルンにて、ジャック・ルヴィエとクラウディオ・マルティネス・メーナーに師事。現在、ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学でキリル・ゲルシュタインに師事している。近年、ロンドンのペビシュタイン・ホール、東京のヤマハホール、ルール・ピアノ・フェスティバル、マントン国際音楽祭、マヨルカ・ピアノ・フェスティバル、湖水地方サマー・ミュージック、ヴァッサーブルク国際音楽祭でリサイタル・デビューを果たしている。

初来日！2026年ルービンシュタイン国際ピアノコンクール ファイナリスト

ドミトリー・ユージン (アメリカ) Dmitry YUDIN (USA)

フランツ・リスト：巡礼の年 第1年《スイス》より《泉のほとり》〈夕立〉
F. Liszt: "Au bord d'une source", "Orage" from Années de Pèlerinage, Book I, S. 160

ロジャー・セッションズ：私の日記から
R. Sessions: From My Diary

武満 徹：遮られない休息
T. Takemitsu: Uninterrupted Rest

アレクサンドル・スクリャービン：ピアノ・ソナタ 第5番 Op.53
A. Scriabin: Piano Sonata No. 5, Op. 53

深い知性と圧倒的な超絶技巧を兼ねそなえたロシア出身のピアニスト、2024年、チューリッヒのゲザ・アンダ国際ピアノコンクール第2位。2023年、ボストンにてハーヴァード・ミュージック・アソシエーション(HMA)フット賞に輝き、ニューヨーク・コンサート・アーティストズ国際オーディション第3位、ルイジアナ州のワイドマン・コンチェルト・コンクール第2位。ルービンシュタイン国際ピアノコンクールの本選(2026年9月)に進む6名のファイナリストの1人に選出されている。2001年モスクワ生まれ、5歳の若さでモスクワ・グネーシン音楽学校に進学し、2008年から2019年までリディア・グリゴリエワに師事したのち渡米。2019年、全額奨学生としてニューヨークのマンハッタン音楽院に入学し、オラシオ・グティエレスに師事。さらにステイーヴン・コヴァセヴィチ、ミハイル・ヴォスクレセンスキーら著名なピアニストたちの薫陶を受けた。現在、カンザスシティのパーク大学にてスタニスラフ・ユデニッチに師事。2025年の主な活動として、マイアミ国際ピアノ・フェスティバルへのデビュー、チューリッヒ・トーンハレでのガボール・タカーチナジ指揮ヴェルビエ室内管との共演が挙げられる。

(途中休憩あり / 18:20頃終演予定)



アリエル・ラニ (イギリス)

©Kaupo Kikkas



中川優芽花 (日本)

©Susanne Diesner



カラム・マクラ克蘭 (イギリス)

©Ralph Lauer



ドミトリー・ユージン (アメリカ)

©Vladimir Kolesnikov